



Title	アメリカ議会資料利用の手引
Author(s)	石倉, 賢一
Citation	北大法学論集, 32(3), 150-136
Issue Date	1982-03-10
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/16377">http://hdl.handle.net/2115/16377</a>
Type	bulletin (article)
File Information	32(3)_p150-136.pdf



[Instructions for use](#)

## <北大立法過程研究会資料>

# アメリカ議会資料利用の手引

石 倉 賢 一

### 目 次

- I 議会資料
  - Congressional Record
  - Bill
  - Hearings
  - Committee Report
  - Committee Print
  - Documents
  - Serial Set
- II 検索資料
- III 議会資料の入手について

## I 議会資料

議会が立法府としての機能を果たす過程で生み出す資料を議会資料という。アメリカ法の研究、とりわけ法制定過程の研究にとって議会資料は欠くことができない。

アメリカ連邦議会の機能はその多くを委員会の活動に委ねており、その結果、議会資料の大部分は委員会関連の資料として発行されるものである。本稿では本会議資料と委員会関係資料をとりあげその説明するものであり利用の便宜を考慮して検索二次資料についても簡単にふれることとした。

## Congressional Record 議会議事録

両院本会議の儀礼的な行事をはじめ、討論の逐語的記録、投票の結果などを詳細に伝えるのがこの「議会議事録」である。

議会議事録は日刊版 daily ed. 隔週版 bi-weekly ed. 製本版 bound ed. の三種があり、日刊版は議会会期中、月曜日から金曜日まで、休会中を除いて毎日発行される。隔週版は日刊版をまとめたものであるが、専ら議員及び議会関係者のために印刷されるもので一般には頒布されない。日刊版は議員の校訂を受けた後編集しなおされ会期末に製本された形で発行される。

議会議事録は次の4部から成っている

- 1 The Proceeding of the House
- 2 The Proceeding of the Senate
- 3 Extensions of Remarks
- 4 The Daily Digest

Proceeding の部には議事と討論が収められ、Extensions of Remarks の部には、議員が発言の際に参照した新聞記事や社説、証拠書類、書簡など、記録として保存したいと考える資料が当該議員の請求によってここに収められる。このほか、本会議で発言の機会を得た議員が時間切れによってその全体を発言することができなかったような場合にも当該議員の請求によって発言しなかった部分がここに収められる。これを leave to print という。ところでこの leave to print のあつかいは製本版においては日刊版と異なっている。日刊版にあっては Extensions of Remarks に収められていた leave to print は製本版では Proceeding の部に移しかえられる。このため本会議で発言されなかった部分が、あたかも発言されたかのように編集しなおされるため製本版を用いる限りはその区別ができない。

上述の組みかえがなされるため日刊版と製本版とのページ付が異なってくるが、引用に際しては校訂を受け、編集しなおされた製本版を用いるの

が慣行である。

Daily Digest は80議会（1947）より発行されておりその内容は前日に行われた議事の要約で次の事項を収めている。

① 本会議の議事

- イ 議事の簡単な内容と結果
- ロ 投票の結果
- ハ 法案の推移

② 委員会の議事

- イ 議事の簡単な内容と結果
- ロ 法案の推移
- ハ 公聴会の開催予定

Daily Digest は製本版においては一年分がまとめられ別巻の最終号として発行される。この別巻号にはその会期に成立した法律の一覧表がつき、これによって当該法案に関する資料を求めることができる。但し公聴会資料は示されていない。索引は日刊版にあっては二週間毎会期全体には別巻の総合索引が附され主題や議員名からの検索が可能である。

Congressional Record の前身は次の資料である。

- ・ Annals of Congress, 1789-1824.
- ・ Register of Debates, 1824-1837.
- ・ Congressional Globe, 1833-1873.

## Bill 法案

法案は議会の法律草案であり議会の意志を表明する方法として最も代表的なものである。

法案が本会議に提出されると、法案名が提出議員の声明文を附して「議会議事録」に登載される。法案には議会期ごとに法案番号があたえられ、当該法案の審議に伴って発行される一切の資料にこの番号が明記され、法律として成立したときにも法律番号と併せ記録される。一議会に一万件を

こえる法案が提出されるアメリカの議会では番号による識別は大変効果のある方法となっている。

法案の原文は政府印刷局 Government Printing Office に送られ、パンフレットの形で印刷されるがこれを Slip Bill という。Slip Bill は大量に印刷され議員はもちろん市民も容易に入手することができる。

### Hearings 公聴会資料

法案は議長の指示により、それぞれ該当の委員会に割り当てられ、委員会は更に小委員会にその審議を担当させる。委員会は社会的に論議をよぶと考えられるような重要法案の審議においては、情報収集のため公聴会を開催する。公聴会が開催されるか否かはその法案の成立と大いに関係があり、重要法案でありながら公聴会が開催されない場合にはその法案の成立する見込はない。

公聴会には、当該法案に関係する行政庁の役人、法律家、学識経験者、利害関係を有する団体や個人が証人として出席し証言を行う。公聴会が公開で開催された場合には議事録が公表され証人との質疑の一切が公聴会資料として印刷公表される。

公聴会資料には、法案の原文、質疑の逐語的記録のほか、公聴会に寄せられた意見書、証人が参考として提出した資料（統計、新聞や雑誌記事）が附属資料として収録される。

公聴会資料は原則として共通の文書番号を持たないが表題紙には法案名をはじめ、公聴会を開催した委員会名、議会及び会期、開催地及び期日等が印刷されている。

公聴会が秘密会で開催された場合には、当該議院の秘密解除の決議があるまで資料の公表はなされない。

### Committee Report 委員会報告書

公聴会の終了後、法案は改めて小委員会の審議に附されるがこの小委員

会の審議を「書き直し審議」 Marking-up Session という。法案はこの書き直し審議において逐条毎の詳細な検討がなされる。法案を原文のまま可決するか、修正するか、あるいは全く書き直してしまうか、棚上げするかは小委員会の裁量である。

本委員会は小委員会の報告を受けて最終的な態度を決定し、可決を勧告する場合にはその結果を本会議に報告する。このとき報告書を提出することとなるが、この報告書の作成は当該法案を審議した小委員会委員長があたるとする。

報告書には法案の原文、目的と範囲、公聴会の概要、法条の逐条的解説、可決を勧告する理由などが示され、現行法の改正を目的とする場合には改正点を、また現行法の廃止を目的とする場合には現行法の全文を記載することになっており、この規則を下院ではラムゼイヤー規則 Ramseyer rule 上院ではコードン規則 Cordon rule という。

報告書の内容と意見を異にする委員は「少数意見報告書」 Minority report を提出することができ、この場合には報告書の本体に併記される。

報告書が本会議に提出されると議会期ごとと議院ごとに、その提出の順序に従って報告書番号があたえられ、直に政府印刷局に送られ、仮製本の形で印刷され議員の用に供される。上院の一番目に提出された報告書は上院を示す S と報告書の略記号 Rep. とによって S. Rep. 1 と表示され、1969年以降は議会番号も報告書番号の一部となったため例えば97議会の第1会期の上院最初の報告書は“97-1 : S. Rep. 1”と表記される。

両院の意見の調整のため開かれる両院協議会の報告書 Conference report は下院の報告書として発行され、上院の助言と承認を必要とする条約の審議を行う外交委員会、大統領の指名する高級官吏の任命を審議する各種の委員会の報告書は秘密あつかいとされ、これ等は一定期間経過後、上院によって機密が解除されるまで公開されない。これを Senate Executive Report という。

### Committee Print 委員会審議資料

議会に設置された委員会は付託された法案に関する調査研究を行うとともに、それぞれの委員会の専管事項について新たな立法準備のため独自に調査研究を行う。

これ等の調査研究は委員会専属の調査スタッフや議会図書館の立法考査部 Library of Congress Legislative Reference Service が担当するほか、外部のコンサルタントや研究機関に委託されることもある。審議資料には、モノグラフ、調査報告書、書誌、ダイレクトリなどがあり、これ等は議会が関心を持つあらゆる領域を対象としており、今日では最も信頼性の高い資料として定評がある。

議員の参考資料として用立てられるこれ等の資料のあるものは政府印刷局の手により増刷され一般の利用にも供されるが、部数が限られていることもあって入手困難な資料となっている。

### Documents ドキュメント

議会資料にはこれまで説明したような資料のほか、法律の規定や議院の決議によって、主として議会外から議会にあてて提出される文書がある。これ等は一括してドキュメントとよばれるが、ドキュメントはおおむね次のとおり区別することができる。

- 1 大統領の教書や行政庁の年次報告書類
- 2 民間団体が議会に提出する報告書
- 3 議会が自らの必要のため院の決議で作成する資料

両院の議事規則集や人名録などはいずれも議院運営上の必要のため議会自らが発行するものであるが、このほか議員にとって有益であるばかりでなく、国民が広く関心を持つであろうと考えられるものについては例え民間の出版物であっても、啓蒙の意味で大量に印刷し販売することが少なくない。

ドキュメントには議会期ごとの文書番号があたえられており、その与え方、および引用の方法は委員会報告書とほぼ同様である。

### Serial Set

両院の Committee Reports と Documents は会期末に改めて一括合冊製本刊行されるが、これを Serial Set という。Serial Set は Committee Reports と Documents をそれぞれ各院ごとに区分して、関連した資料を数冊、あるいは数十冊あつめて合冊製本し、その一冊ごとに新たな整理番号である Serial number をあたえる仕組をとっている。Serial Set には特別の標題もなく、合冊されても通しページなどもつけられない。もともと Serial Set は議会資料を継続的に受け入れる図書館の整理、保存のため考え出されたものであるから主題や書名からの検索には不向である。従ってこうした目的のためには後述の検索資料を用いる必要がある。

Serial Set は1817年以降をカバーするもので、それ以前の同様の資料は American State Papers とよばれるもので、これは1789-1838年の重要資料だけをあつめたものである。

## II 検索資料

年間60万ページをこえて印刷されるという大量の資料のなかから、必要資料をもれなく探し出すことは大変手間のかかる仕事である。必要な資料を探したり、書誌的に正確なデータを得るために検索資料が役に立つ。索引や書誌といわれるもののほか、議会速報なども有益な資料となる。ここではごく基本的な検索資料をあげるにとどめるが、詳しくは Cohen, M: How to Find the Law 1976. 等を参照されたい。なお本学所蔵の資料は少なくないが図書館、法学部の分についてはその所蔵を示した。この他公開施設であるアメリカンセンター札幌（札幌市中央区大通西28）の所蔵も併せ示してある。



図……北海道大学附属図書館

法…… 〃 法学部

ア札……アメリカンセンター札幌

1 CIS/INDEX. Congressional Information Service/Index to Publications of the United States Congress. 1970-Monthly. ア札

1970年CIS社は議会資料に関する総合的な索引と抄録の発行を開始した。本誌は議会資料のみを対象としており、本索引の発行によってこれまで、いくつかの検索資料を併用しなければならなかった不便は一挙に解決することとなった。

索引は多角的な検索ができるよう工夫がなされており、次の項目からの調査ができる。

- 1 人名及び主題
- 2 著者名
- 3 発行機関名
- 4 公聴会証人
- 5 委員長名
- 6 法案番号
- 7 委員会報告書、ドキュメントの番号

月刊で発行される索引は Summary Section と Index Section に分けられ、Summary Section は抄録を収めている。月刊索引は年間累積版にまとめられ、それぞれ索引編と抄録編となる。

CISの特徴は、各資料の全てに独自のアクセション番号をあたえ、識別を容易にしていることである。例えば上院の「司法委員会」には、S52の番号があたえてあり、資料の性格によって次の番号をあたえ、更に枝番号をあたえて識別する仕組となっている。

S 52—Judiciary

S 520—Documents

S 521—Hearings

S 522—Prints

S 523—Reports

S 524—Executive Reports

S 525—Executive Documents

なお同社はマイクロフィッシュによって1970年以降の議会資料を販売しているが、このアクセション番号はマイクロフィッシュとも対応しており、検索と利用が極めて容易となった。

※ 同社は現在、これまで刊行された全ての議会資料をマイクロフィッシュとして販売しており、一部をのぞいて入手が可能である。

## 2 PAIS: Public Affairs Information Service Bulletin. 1915—Semi-Monthly. 図

アメリカの政治関係資料を対象とする索引誌であるが、図書、雑誌論文のほか、政府刊行物も含まれており、公聴会資料、委員会報告書などの調査に有効。索引誌の多くが政府刊行物を除外しているため、本誌の利用度は高い。月二回発行され、季刊及び年間の累積版も出る。

索引は小項目の主題順であり、著者や発行機関からの検索はできない。なお1915—1974年の累積版も発行された。

## 3 Monthly Catalog of United States Government Publications. 1895—Monthly. 図. ア札

アメリカ政府刊行物の速報で「政府刊行物月報」の名で知られており、カレントな資料を求めるには欠くことができない。

資料は発行機関ごと、アルファベット順に収録され、詳細な書誌データが附されている。議会資料は全て Congress の下に記され、数葉のパンフレットで印刷される法案から、Congressional Record にいたる全てが登載される。年末には年間累積版が発行されるが、別に1900—1971をカバーす

アメリカ議会資料利用の手引

る累積主題索引もある。

次に、議会資料のそれぞれについて代表的な検索資料をあげてみよう。

〔議会議事録〕

4 Congressional Record Abstracts. 1975-Daily

Congressional Record の要約索引誌で、議会議事録の内容を主題項目に分類し索引化したもの。要旨と議事録の対応ページが示されており Daily Digest とほぼ同様の資料。

〔公聴会資料〕

5 Cumulative Index to Congressional Committee Hearings, (Not Confidential in Character) from 74 th Cong. (Jan. 3, 1935) through 85th Cong. (Jan. 3, 1959) in the United States. 1959.

74議会（1935）から85議会（1959）までに発行された上院と下院の公聴会に関する累積索引で、件名、法案番号、委員会名からの検索が可能。

1959—63年、1963—67年、1967—71年の各年度をカバーする補遺も出版されている。

6 Index to Congressional Committee Hearings in the Library of the United States House of Representatives, prior to Jan. 1, 1951. 1954. 5と同様の索引。1949—55年の補遺が1956年に出版された。

〔委員会報告書〕

7 Popular Names of U. S. Government Reports; a Catalog. 3. ed. 1976.

委員会報告書は一般に報告書作成者の名前つまり委員長名(小委員長名)を冠してよばれることが多い。しかし、こうした通称によっては文献目録

や索引から探し出すことはできない。そこで、通称を手がかりとして正式名称、あるいは発行委員会名を調査するのに役立つのがこの索引である。通称以外に詳しい書誌情報を持たない場合に有益、書誌情報のほか短い注釈もついている。

〔委員会審議資料〕

8 Bibliography and Indexes of United States Congressional Committee Prints from the 61th Cong. (1911) through the 91th Cong. (1969) in the United States Senate Library.

委員会審議資料の総合的な書誌索引。上院、下院、合同委員会ごとに区別し、それを更に小委員会のアルファベット順に分類して資料をリストしている。別に書名索引もあり 議会期と年度からの検索もできる。本書は Green Wood 社のマイクロフィルム化された資料の索引として刊行されたもので、マイクロフィルムの番号も指示されている。

9 Bibliography and Indexes of United States Congressional Committee Prints from the 65 th Cong. (1917) through the 91th Cong. (1969), Not in the United States Senate Library. 1976. 法  
上記と同様の資料。

〔Serial Set〕

10 CIS/U. S. Serial Set Index, 1789—1969.

11 Numerical Lists and Schedule of Volumes of the Reports and Documents of the 77 th Cong.—85 th Cong. (Jan. 3, 1941—Aug. 24, 1958) 1965.

10, 11はいずれも Serial Set を利用する場合に用いる。10は主題及びキーワードから検索でき、11は委員会報告書、ドキュメントの番号から

Serial Set の収録巻号へ導くもの。

各議会ごとの Serial Set に対して発行されるが本索引は17年間をまとめたもの。

[特定の法律に関する議会資料]

12 CIS/INDEX. Annual. 1970— ア札

月刊、及び年間累積版の Legislative History の項には、新たに制定された法律が法律番号順に紹介され、これには、同法の略称、正式名称、法案番号、審議に伴って発行された公聴会資料、委員会報告書、委員会審議資料、ドキュメントなどの一切の資料のほか議会議事録の収録ページ等が数年前にさかのぼって示される。

13 Daily Digest. Annual. 1947—

「議会議事録」の一部として発行される、この Daily Digest は会期末に一冊にまとめられるが、このとき History of Bills Enacted into Public Law とよばれる法律番号順の一覧表 Statute table がつき、法案名、法案番号、委員会報告書番号、議会議事録の収録ページが示されている。但し公聴会資料はのっていない。

14 U. S. Statutes at Large. 法. ア札

「法令全書」ともよばれるこの法令集は、法律の制定された順、つまり法律番号順に1会期をまとめたものであるが、77巻(1963年)より List of Bills Enacted into Public Law とよばれる Statute table がついている。この編年体の法令集はパンフレットの形で公刊された Slip Law を一年分製本したものであるが、Slip Law においては表題の下部に注記されていた制定経過 Legislative History は各々の法律の末尾に記載される。

ちなみに Slip Law は次の注記がなされている。



## アメリカ議会資料利用の手引

近年議会資料に関してもデータベースによるオンライン検索が可能となった。

アメリカロッキード社の DIALOG データベースにはすでに説明した CIS/INDEX (ファイル番号 101), PAIS (ファイル番号 49), Monthly Catalog of G. P. O. (ファイル番号 66) のデータベースが含まれており、検索が可能であるデータの範囲は次のとおりである。

※なお DIALOG は附属図書館に設置されており利用の詳細については閲覧課参考掛に問い合わせられたい。

データ名	利用可能年次	蓄積情報量	年間情報追加量
CIS/INDEX	1970—	110,000	12,000
PAIS/INTERNATIONAL	1976—	71,000	25,000
MONTHLY CATALOG, GPO	1973—	30,000	4,000

### Ⅲ 議会資料の入手について

カレントな資料を入手するにはアメリカ政府印刷局発行の「政府刊行物月報」を用いて早目に書店等に手配するのが良い。時機を失すると、ほとんど入手の可能性はない。次に過去の資料を求めるには、個々の資料を現物で求めることはほとんど不可能といってよい。しかし現在では商業出版社が数社、マイクロ化した形で全ての資料を販売しており、それを利用するのが良い。CIS 社では必要な資料だけを単品でも供給してくれる。ちなみにアメリカンセンター札幌は CIS 社の索引を 1970 年よりマイクロフィルムを 1974 年以降分所蔵しておりハードコピーも無料で提供してくれる。

国内の図書館では「国立国会図書館」が最も良く収集しており、その所蔵状況は、同館発行の「議会政治文献目録：議会開設 70 年記念」1961 年刊等を参照されたい。国立大学においては東京大学、京都大学の法学部が充実している。特に京都大学には議会資料を中心とした、法学部附属の公開

施設「国際法政資料センター」が設置されており、文献複写にも応じてくれる。

文献複写によって資料を入手しようとする場合にはできる限り正確なデータを附して依頼することが肝心で、申込のデータが不正確な場合には、資料が特定できず必要以上の時間がかかったり、相手方が所蔵していても入手できないケースも起ってくる。従って、これまで説明した検索資料等によって詳しいデータを確認しておくことが入手の早道ともなる訳である。

### 本学議会資料所蔵一覧

資 料 名	所 蔵	形 態	所 属
U. S. Congress Proceedings.			
1. Annals of Congress	1789-1824	Film	法
2. Register of Debates	1824-1837	"	
3. Congressional Globe	1833-1873	"	学
4. Congressional Record	1873-1964	"	
5. Congressional Record	1962-Daily ed.	Book	部
Index	欠号あり 1789-1962	Book	
Print			
1. 61-91th Cong. in the U. S. Senate Library. (CIS)	1911-1969	Fiche	経
2. 65-91th Cong. not in the U. S. Senate Library. (CIS)	1917-1969	"	済
3. House and Senate Committee Print (CIS Limited ed.)	1970-1978	"	学 部
Senate Executive Report	1970-1978	"	
Senate Executive Document (CIS Limited ed.)	1970-1978	"	"

1981. 12月現在



## Guide to Congressional Publications

Kenichi ISHIKURA\*

Congressional Publications are the most basic sources of legislative materials. These valuable sources are published Congressional Record, Hearings, Reports, Prints, Documents. Congressional Publications are current, detailed, and authoritative reference materials to researchers today. Because of the vast and voluminaus nature of Congressional Publications, finding tool is indispensable.

---

\* The Staff of Hokkaido University Library.